

平成28年度 上里小学校 経営方針

H28. 4. 6

学校教育目標

里に学び 里を愛し 未来を切り拓くたくましい子

めざす子ども像

「自ら考え、進んで表現し学び続ける子」（確かな学力）

「人を思いやり、自然と豊かにかかわる子」（豊かな心）

「心や体を鍛え、粘り強くやり通す子」（健やかな体）

1 取組の柱

人権教育を基盤とした安心できる学級から、やさしさあふれる学校をつくる。



たくましく未来を切り拓いていく心と体を培う。

2 経営方針～教育活動の更なる充実と地域ぐるみの学校づくり～

- (1) 教職員自身が教育者としての責任を自覚し、全教職員で創意ある教育活動を活開し、学校の組織力強化を図る。
- (2) 学力向上プランに基づき問題解決的な学習を展開し、確かな学力をつけていく。
- (3) 見逃しのない観察、手遅れのない対応、心のかよった指導を行い、いじめを許さない学校体制をつくる。
- (4) 地域・家庭の理解と協力を求めながら、地域・家庭の教育力を生かし、地域・家庭と共に歩む学校づくりを進める。
- (5) 学校だより・学校ホームページによる学校教育内容の紹介や学校評価結果の公開等の説明責任を果たしながら、外部に意見や感想を求め開かれた学校づくりを進める。
- (6) 小中一貫教育を推進し、学力向上や生徒指導、LD 等支援の必要な児童・生徒の情報を共有し、9年間を見通した学習指導・生徒指導を推進する。

3 本年度取組の重点

<子どもの学力の向上を図る>

子どもに届く「わかるよい授業が、何よりの人権教育」を重点として、人権教育を基盤とした高め合う学習集団づくり、個をいかす授業づくりを進める。

- (1) 問題解決的な学習を展開し、子どもに思考・判断・表現する力を育成する。チームプレートを活用し、比較・関連しながら「つなぐ」ことを意識した話し合い活動を実践する。また、言語活動の充実を図るために、ノート指導を徹底する。
- (2) 学習活動の基本となる姿勢（学びの約束やルール）を一人一人の子どもが確実に身に付け、意欲的に学ぶ集団づくりに取り組む。
- (3) 家庭学習習慣の働きかけをすると共に、宿題は学年で連携して進め、確実に点検し、その日のうちに評価して返す。子ども自らが課題を選択して取り組む自主学習ノートに取り組む。
- (4) 読書に興味・関心をもつ取組を進め、進んで読書する習慣を付け、読む力・書く力につなげていく。

<子どもの心を育てる>

- (1) 人権尊重の精神と健全な規範意識を養い、相手の立場に立って考え方行動でき、人の関係を大切にする教育を推し進める。
◎人権感覚と学習ルールを身につけ、お互いに支え合い高め合う学習集団をつくる。
・友だちの話を聞く（心を傾ける）ことが人権尊重、5分前行動、けじめ、集中。
- (2) 「あいさつ」「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする望ましい生活習慣を家庭・地域と力を合わせ育んでいく。
- (3) 上下関係をなくし人権意識を高めるため、『全校～さん付け』呼称を推進する。
- (4) 道徳教育推進教師を中心に全教職員の校内体制を確立し、道徳教育の充実と実践・行動化をめざす。教材の見直しと開発。夢いっぱい、私たちの道徳の活用。学級指導に終わらせない積極的な取り組みによる道徳的実践力の育成。
- (5) 支援を要する児童・気にかかる児童について現況と課題を明確にし、全校で共通理解と関わりを深め指導していくとともに、支援を要する児童・気にかかる児童を焦点化した学級経営に努める。
- (6) 地域学習や地域との交流を一層進め、地域に学び、地域と歩み、郷土を愛する心を育む教育を進める。

<子どもの体を育てる>

- (1) 体育的活動、保健指導、安全指導、食育を通して、自らの健康や身体に意識を向させ、健康な心と体を育てる教育を進める。
◎食育は、生涯にわたって健康で豊かに生きる基盤であるとともに人の命にも関わる大きな人権教育としてとらえる。
- (2) 部活動を通して、児童一人一人の特性やよさを伸ばしていく。
- (3) 少しの困難には負けないとまじい心と体力を身につけ、自立する力を育む。
- (4) 高学年の子どもは、相撲大会や大文字駅伝支部予選会など、大会に向けてしっかり意識付けをして練習に臨む。